

案件概要書

2018 年 2 月 27 日

1. 基本情報

- (1) 国名：ガーナ共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：グレーターアクラ州テマ市（人口約 16 万人）、グレーターアクラ州（人口約 461 万人）
- (3) 案件名：第二次テマ交差点改良計画（The Project for Improvement of the Tema Motorway Roundabout（Phase 2））

(4) 計画の要約：

本計画は、テマ市内のテマ交差点の立体化により、交通の円滑化を図り、もってガーナの主要経済圏及び内陸国との交通利便性向上及び物流改善に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

(1) 本計画を実施する外交的意義

ガーナは、国際場裏における我が国の友好国であり、過去 6 回の TICAD に全て大統領が参加しており開発協力の実施による協力関係の維持・強化は重要である。

また、同国は、英語圏であり、治安も安定していることから、日本企業による西アフリカ進出のゲートウェイとして期待されている。インフラ投資等によるビジネス環境整備は、我が国企業の進出を後押しする観点からも重要である。

我が国は、2016 年 8 月に開催した TICADVⅥにおいて、「質の高いインフラ投資」の推進による連結性の強化を推進するため、ガーナを含む西アフリカ「成長の環」を総合開発の三重点地域のひとつと位置づけているほか、約 100 億ドルの質の高いインフラ投資を実施することを表明しており、本計画はこれを具体化するものである。

(2) 当該国における道路セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

ガーナは、西アフリカ地域の交通ハブとなることを目標に、国際幹線道路の拡充・交通円滑化を進めている。ガーナでは、道路、鉄道、水運、空港の各交通分野の中で、道路交通が全輸送量の約 95%を占めており、近年の高い経済成長に伴い、物流量増加に対応するための道路拡張及び延伸の必要性が急増している。中でも、首都アクラ、港湾都市テマを擁するグレーターアクラ州は、国土面積の 1.4%に人口の 16.3%が居住し、同州登録車両数が全国の登録車両台数の 65%を占める等、交通が集中している。

テマ交差点は、西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）の重点回廊である「ラゴス - アビジャン回廊」及び内陸国のブルキナファソの国境へ繋がる「東部回廊」の二つの国際幹線道路の交差であるとともに、首都アクラに接続する国内道路を繋ぐ 5 差路であり、西アフリカ「成長の環」広域開発戦略的マスタープランにも含まれる主要交通インフラである一方、首都アクラ及びテマ港往復の交通の流入により、恒常的な混雑が発生し、長距離物流のボトルネックとなっており、特に朝晩のピーク時には交差点に向け 5km 前後の渋滞が発生し、走行速度は 10km/時以下となる。

Tema港の貨物取扱高は 2007 年から 2016 年の 10 年間で 60%以上増加しており、周辺交通インフラ整備が必要。またガーナ政府による Tema 港拡張計画や円借款「東部回廊ボルタ川橋梁建設計画」の実施により、同地域の更なる交通量の増加が見込まれる。先行する無償資金協力「ガーナ国際回廊改善計画」にて、東西のアンダーパスは建設予定であり、その後続案件として南北のフライオーバーを建設する本計画は、ガーナの主要経済圏及び内陸国との交通利便性向上及び物流改善に寄与するものとしてガーナの中期開発計画に合致する。

3. 計画概要

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容：Tema 交差点での高架道路建設

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計，施工監理。

ウ) 調達・施工方法：協力準備調査にて確認する。

② 期待される開発効果：プロジェクト実施後，渋滞の緩和により，交通利便性の向上及び物流の改善が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：道路省（Ministry of Roads and Highways），ガーナ道路公団（Ghana Highway Authority）

④ 他機関との連携・役割分担：Tema 交差点以外の「ラゴス-アビジャン回廊」，「東部回廊」の整備を世界銀行，アフリカ開発銀行，EU，中国，ブラジル等が支援。

⑤ 運営／維持管理体制：ガーナ道路公団（Ghana Highway Authority）

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮 カテゴリ分類：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる道路，橋梁セクターのうち大規模なものに該当せず，環境への望ましくない影響は重大でないと判断され，かつ，同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため，カテゴリ B に分類される。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

マラウイ共和国向け無償資金協力「バラサ-サリマ間国道 5 号線橋梁架け替え計画」（2011 年）の事後評価等において，橋梁の維持管理に係る予算を十分に確保することの重要性が指摘されている。本計画では，維持管理計画と予算措置の重要性を調査の段階から先方政府に申し入れ，維持管理費用が確保されるようにする。

以 上

〔別添資料〕地図

[別添資料] 地図



西アフリカ「成長の環」

